

参加
無料

こころとからだの勉強会(第41回健康教育研究会)

岩手県地域自殺対策強化事業

公益財団法人岩手県予防医学協会

社会的ひきこもりと 対話的支援

～「生きづらさ」を抱える人とつながるための対話実践～

ひきこもり状態にある方は全国で推計146万人を超えるとされる現在。ひきこもりは決して特別なことではありません。本講演会では、ひきこもり支援の第一人者である斎藤環先生をお招きし、専門的な知見と温かい視点から、「生きづらさ」を抱える方の心に寄り添い、孤立を防ぐための「対話実践」についてご講演いただきます。孤立を防ぎ、心を通わせるための対話のヒントを一緒に学びませんか？

日時

2026

11/22 SUN

10:30 ~ 11:30 (受付 10:00 ~)

アーカイブ配信

2026.12.7 (月) ~ 2027.1.8 (金)

※アーカイブ配信のみの視聴も可能です

会場

キオクシアアイーナ (いわて県民情報交流センター) 研修室812 ※定員100名

申込方法

URL: <https://www.aogiri.org/support/seminar41/>
上記URL又はQRコードからお申し込みください



申込受付期間

2026.10.13(火) ~ 2026.11.13(金)

※アーカイブ配信は配信最終日まで申し込み可能

講師プロフィール

精神科医・「つくばダイアログハウス」院長・筑波大学名誉教授



さいとう たまき
斎藤 環先生

1961年、岩手県生まれ。1990年、筑波大学医学専門学群環境生態学卒業。医学博士。爽風会佐々木病院精神科診療部長を経て、2013年から2024年まで筑波大学医学医療系社会精神保健学教授を務めた。専門は思春期・青年期の精神病理、精神療法、および病跡学。現在は、「つくばダイアログハウス」院長、筑波大学名誉教授、日本思春期学会理事、日本病跡学会理事公益社団法人青少年健康センター会長。著書に「文脈病」(青土社)、「社会的ひきこもり」(PHP研究所)、「ひきこもり文化論」(紀伊國屋書店)、「生き延びるためのラカン」(ちくま文庫)、「ひきこもりはなぜ『治る』のか?」(中央法規出版)、「世界が土曜の夜の夢なら」(角川書店)、「オープンダイアログとは何か」(医学書院)、「イルカと否定神学」(医学書院) など。訳書にヤーコ・セイクラ他著「開かれた対話と未来」(医学書院)がある。『関係の化学としての文学』(新潮社)で2010年度の日本病跡学会賞を受賞。『世界が土曜の夜の夢なら ヤンキーと精神分析』(角川書店)で2013年に第11回角川財団学芸賞を受賞。『心を病んだらいけないの? うつ病社会の処方箋』(新潮選書)で2020年に第19回小林秀雄賞を受賞。

お問合せ

公益財団法人岩手県予防医学協会 健康支援課 担当 亀澤・千葉 TEL:019-638-4886